壬生町政だより

40年4月号

No. 76
毎月1回発行
発行所 栃木県壬生町役場
印刷所 株式会社 新生社

諸統計 たより

人口統計

昭和40年4月1日現在		対前月比
総人口	24,077人	39人増
男	11,779人	27人〃
女	12,298人	12人〃
世帯数	4,688世帯	12世帯増

十一社が操業開始
“おもちゃのまち”駅も開通

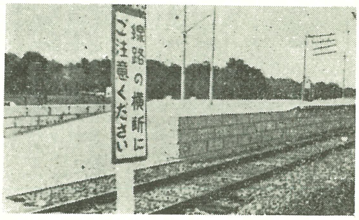
▽オモチャ団地

玩具団地（理事長富山栄次郎）では、昨年二月から約八億円をかけて、団地造成、道路、十一社の工場、事務所などの建設を進めてきましたが、本年三月末で第一期工事が完了し、四月一日から操業を開始しました。

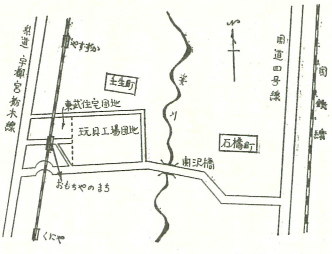
施設としては計算センター一棟、給食センター一棟、世帯アパート四棟独身寮二棟、木造住宅三十二戸、運動場等です。

従業員は二百五十名でそのほか下請けや内職希望者を募っております。

ぞくぞく生産に入った玩具工場



おもちゃのまち駅



玩具団地附近の略図

▽おもちゃのまち駅

玩具団地に接する東武団地では、新しく「おもちゃのまち」駅を造成し四月一日から朝晩臨時停車をしています。

六月七日には駅舎も完成、正式に営業開始となります。

また駅前広場や駅へ通ずる道路は、都市計画にそって工事が進められ、同じく六月七日までには完了いたします。

参議院選挙近づく
補充選挙人名簿登録の申出を早目に

参議院議員の通常選挙は、六月二十日頃に予定されています。

この選挙のために補充選挙人名簿がつくられますが、その登録の手続きが今までと変ることが予想されますのでお知らせします。

今までは、補充選挙人名簿に登録するためには、登録申請期間中に申請書を委員会に提出しなければできませんでしたが、昨年の十月から選挙のあるなしにかかわらず、いつでも登録の申出ができるようになったことはすでにお知らせした通りです。

この随時申出制度ができたため、今までの申請期間を設けて登録申請をとり扱っていた制度が近く廃止される見とおしです。ですから今の選挙人名簿にのっていない他市町村からの転入者や、満二十才に達した人は、早めに申出をするようおすすめします。

この申出によって選挙のとき委員会でもう一度審査をして、該当者は補充選挙人名簿に登録されることになります。

申出は原則として本人が選挙管理委員会または住民登録の事務をとり扱う窓口（本庁、支所）に申出して行ないます。（用紙は準備してあります。印かん持参）第三者による申出はできません。

投票日近くになって、あわてても間にあいません。該当者はもれなく申出て、来るべき参議院選挙には、一人残らず投票し、明るく正しい選挙の実現にご協力下さい。

この一票わたしが誇る国づくり

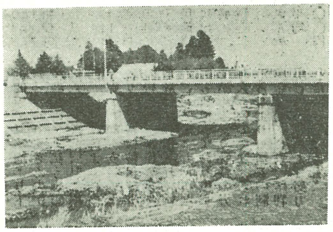
永久橋“関沢橋”が完成
国谷・石橋線

この道路は壬生町と石橋町の都市計画街路事業として、昭和三十九年度事業分がこの程次のとおり完了した。

①関沢橋＝これは同路線の姿川に架設した永久橋で延長五十九㍍、巾員九、五㍍、工事費は用地費を含めて四千三百七万円。

②道路事業＝39年度は石橋地内の延長一、六六二㍍、巾員七、五㍍の路盤造りで工事費は一千九十三万円。

これによって国道四号線と玩具団地を結ぶ道路は一応交通ができることになった。



写真＝完成した関沢橋

壬生町青少協が受賞
優良防犯団体として

壬生町青少年問題協議会（代表小田垣健一郎）では、三月二十六日、優良防犯団体として栃木県警察本部長から表彰されました。

同協議会は昭和三十七年四月発足いらい、少年非行の早期発見と対策、保護のけい蒙、環境の浄化など着々と実績をあげ各部落に一名の少年補導委員百十七名を委嘱するほか、地区内八地点に犯罪のない明るい町づくりを訴える大看板を設置するなどが認められたものです。

佐藤昌次氏が
県議会議長に

佐藤県議長

去る二月県議会の最終日三月二十八日、本町出身の佐藤昌次県議（五十一才）が議長に当選、第46代県会議長に就任した。

人事消息

学校教員

壬生町管内の教員の異動は次のとおり（四月一日付）四十名。

▽**新任**（カッコ内は旧）

▽**壬生小学校**＝木村ツネ（藤井小）早乙女久夫（稲葉小）片島寿子（安塚小）飯野孝夫（石橋小）松本文江（稲葉小）戸村キヨ（那須川西小）

藤井小学校＝高山亀蔵（北小）大垣和子（藤岡小）

東小学校＝鈴木清治（壬生小）高橋良子（同）

稲葉小学校＝高木利夫（羽生田小）糸井重義（復職）

羽生田小学校＝朝日悦夫（北小）野原宏俊（同）

壬生北小学校＝落合清二（東小）朝日一雄（南犬飼中）

壬生中学校＝相田正作校長（犬中校長）桜沢秀夫（吹上中）阿部洋子（養護）

稲葉中学校＝小谷野豊校長（大宮中）鈴木幸子（犬（新採用）大内臣男（犬中）吉田武（壬生中）

南犬飼中学校＝君島光夫校長（県教委）稲葉善吾（稲葉中）渡辺五郎（氷室中）崎谷勝雄（作原中）金田靖正（新採用）

▽**管外転出者**

石橋中＝萩野矢碧（壬生中）栃南中＝関谷啓三（同）山梨県＝石坂容子（同）大平西小＝粂川正雄（稲中）黒磯中＝荒瀬珠江（同）大宮中＝青木延雄（犬中）益子小＝井上晃（壬小）横川西小＝小池明枝（同）

▽**退職者**

永井好平（壬中校長）植竹耕作（藤井小教頭）手塚シヅエ（東小）奥村トシ（稲小）

所長に神山六郎氏

栃木警察署壬生幹部派出所内の異動は三月八日付で次のとおり。

▽新任（カッコ内は旧）

所長＝神山六郎（烏山警察署次長）安塚駐在所勤務＝塩田桝造（栃警）幹部派出所勤務＝加藤夏樹（栃警）

▽転任

大田原警察次長＝栗原栄、羽川部長駐在＝松沼喜重（安塚駐在所）栃木警察署勤務＝大平昭夫

法務局

宇都宮法務局壬生出張所では三月二十五日付で次のとおり異動があった。

▽新任（カッコ内は旧）

田野辺昇司（宇都宮地方法務局）水沼和男（茂木出張所）

▽転任

松本栄一＝佐野出張所へ

上吉原祥恭＝真岡支局へ

福祉年金の支払い

福祉年金の支払いは五月六日（木）から、各郵便局の窓口で支払われます。

その時には、福祉年金証書と証書に押してある印鑑を必ず持参して、支払いを受けて下さい。

ラッキー・ハワイアンズ発表会

主催 壬生ミウジック・クラブ
後援 壬生町教育委員会 壬生町中央公民館
と き 五月十五日（土）午後六時半開演
ところ 壬生町中央公民館
曲 目 南国の夜・ある恋の物語その他
友情出演 ◦平川ヤングスターズ ◦松本忠とグローファイターズ

“フォークダンスの集い”

五月例会日
◇五月六日（木）
〃二十日（木）
◇午後七時三十分より九時三十分まで
◇壬生町中央公民館講堂

男女を問わず気がるにご参加下さい。

自衛官募集

防衛庁では、昭和四十年度第一次二等陸海空士を募集しております。

▽応募資格
十八才から二十五才まで

▽募集期間
四月から六月まで

ふるってご応募下さい。

くわしくは役場総務課へおたずね下さい。

お知らせ

ハイキングへ行こう！

◆期日 五月九日（日）
◆場所 塩原八方が原
◆経費 五〇〇円

参加申込みは町教育委員会事務局へ

水道技術者の募集

役場では昭和四十年度に上水道事業を開始するにあたり、技術者若干名を募集いたします。

一、資格＝高工卒または高校卒以上の男子で、経験年数三年以上並びに水道技術管理者資格を有する者。
二、年令＝四十才まで。
三、手続き＝履歴書一通、抄本一通、健康診断書、資格証明書。
四、申込み＝役場総務課

求人
日豊金属工業KK

所在＝壬生町三好町

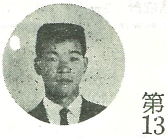
▽職種及び採用人員
鋳物仕上工 男子十名（十六才―三十才）
勤労係 男子一名（三十才…四十才）
運転手 男子一名（十六才―三十才）

▽基本給
一二、五〇〇円から二三、〇〇〇円

▽面接
毎週月曜日から土曜日まで、午前十時から午後四時、壬生町三好町の同工場事務室にて。

米国農業実習を終って

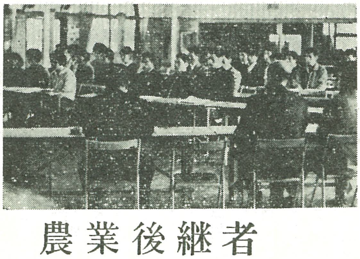
第13回派米農業実習生　川島芳之君


川島芳之君

私の米国農業実習につきまして町の皆様から多大なる御支援鞭達を載きましたことを厚く御礼申し上げます。

私はカリフォルニアの最北端の海岸でジャージーを百頭程搾乳する酪農場で一年間農場主及びその家族と寝食を共にして実習して参りましたがその間大陸横断旅行を含む延べ二八日間の研修見学旅行などもあり大変良い勉強をさせて載きました。全般的に米国農業を見て何があれだけ高度の農業経営を可能ならしめているかというと耕地が大面積で生産基盤が非常に強いということが第一でありますが、加えて非常に良く働き科学的に物事を究明し生活を豊かにするために、我々日本人に優るとも劣らない努力があるからだと私は思います。農務省予算の七十パーセントを価格支持のために使っているなど非常に合理的な政策がそれを助けていることも見逃せません。

私も米国での経験から良い点など参考にしながらむずかしい日本の農業に精一杯の体当りをしてみたいと思っています。今後共宜しく御指導の程御願い申し上げます。



農業後継者励まし会

農業が急テンポに変化しそれにつれて農家の後つぎ、特に二十代の若い後つぎの減少が大きく目立ってきている現状からみて、四月十六日、午前十時から「農業後継者励まし会」が中央公民館で催され、町長はじめ栃木農業改良普及事務所長、農委会長ほか後継者四十名が集まった。

近代農業の意欲と自信を持つようにと励ましの言葉があり、アメリカから先月帰国した羽生田四Hクラブの川島芳之君の「アメリカの農業」と原坪四Hクラブ、田辺正君の「養鶏をとり入れた農業」などの体験発表があり感銘を深めた。

写真＝激励をうける後継者たち

昭和四十年度国保のあり方

（解説）自分が病気をするか、家族から病人が出ることについてはわたくしたちは非常な不安を持っています。

健康を害することこそ不安を感ずるのは当然です。それが「非常な重荷」となるのは医療費の問題です。最近の医療費は著しく増加し、三九年度の壬生町平均一人当りの医療費は三、二六三円でしたが四〇年度には六、二七二円になる見込みです。

また一人当りお医者にかかる回数は県平均にしますと三九年度には二・五回ですが四〇年度には三回になる見込みです。このように医療費が増えたわけは

①新しい薬が大巾に保険で使えるようになったこと。

②医療費の計算のやりかたがかわったこと。

③世帯主や家族の七割給付となったこと。

④大都市地域と地方農山村地域との診療費の差がなくなったこと。

⑤四〇年一月から九・五％の医療費の値上げがあったため。

⑥国民健康保険制度が住民に理解され気軽に利用され病気が軽いうちに少ない自己負担で治療をうけられるようになったことなどによりますます増える情況です。

国民健康保険事業は被保険者の相互扶助の精神が基本になって運営されており「被保険者は市町村の区域内に住所を有する者は市町村の行う国民健康保険の被保険者とする」となっています。

医療費が増えれば税金も増さなければなりません。また納められた税金は国民健康保険以外のことには使うことができません。この点が一般の税金と違うところです。

四〇年度に皆さんの納める税金は県平均一人あたり二、三〇〇円になります。壬生町の場合は一人当り二、〇七四円で県平均より下廻っており皆さんの医療費を町で支払う金額は六、二七二円、県平均四、〇〇〇円より相当上廻った額を支払っており、これは被保険者の皆さんが国保事業を理解して利用されていることです。もちろん国も負担しており税金で納めるより受益の方が大きいのです。これからもより一層この制度を発展させ大いに利用して戴けるよう努力したいと思います。

新入学児童を輪禍から守ろう

戸籍相談

改名する場合の手続は

問　私は娘でありながら「清」という名前です男とまちがえられたり人から笑われたりしていやでたまりません。名前を変えたいのですが、どうしたらよいでしょうか。

答　人の名は、その人を他人と区別するのに、大切なものですから、やたらに変更を認めるというわけには、いきませんが「正当の理由」があれば、家庭裁判所で名前の変更を許可してもらうことができます。

営業上の目的で襲名するとか、戸籍上の名でないものを長年使用してきたというような場合などは、わりあい改名が認められているようです。

あなたの場合は正当な理由があるので認められると思います。

なお、あなたの場合には関係ありませんが、たとえば、「國」とか「学」を現在略字化された「国」とか「学」と当用漢字に改めるには家庭裁判所の許可によらなくても、役場総務課戸籍係または支所戸籍係に申出ることによって訂正してもらうことができます。

豚コレラの予防注射は定期的に受けましょう

町では毎年四回定期的に豚コレラ病の予防注射を実施しています。昨年は豚コレラの発生で飼育者のみなさんの中には大きな被害を受けた方もあるでしょう。

本年はそのようなことのないように、必ず予防注射を受けてください。なお定期予防注射以外でも臨時に行なう予定もありますので役場経済課へ申込んでください。

昭和39年度豚コレラ病予防注射実施頭数

地区別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
壬生地区		170		162	74	443	13					207	1,069
稲葉地区		109		36		268	10					94	517
南犬飼地区		462			85	781	21				286	5	1,640
合計		741		198	159	1,492	44				286	306	3,226

鮎一万尾を放流

下都賀漁業協同組合壬生支部では、県の水質検査の結果水質も良く汚染度ゼロという好条件の上で琵琶湖産の鮎（稚魚）一万尾を四月十八日から二十日までの三日間に渡って黒川に放流しました。

壬生地区への放流は戦後はじめての試みで組合では、真剣にとりくんでいます。

なお、四月十五日から五月三十一日までは、毛針その他の魚獲を一切禁止になります。解禁は六月一日からです。

“皆さん密漁はやめましょう。”

訂正

三月号一面で一般会計の内

▽総務費（四千九百五十九万六千円）とあるを（四千九百八十八万二千円）に。

▽農村水産業費を農林水産業費に。

▽土木費（一万八百五十一万九千円）を（一千八百五十一万九千円）とそれぞれ訂正いたします。

タバコ

は町内の小売店で買いましょう

二百五十枚の雑布を寄附

仲通町の長寿会

雑布を作る長寿会の人たち

壬生町仲通町のお年寄りで結成している長寿会（会長石崎楚治氏、総員四十一名）では昨年に引き続き少しでも社会のためになればと、雑布二百五十枚を丹念につくり四月十二日、壬生小学校へ寄附、先生や生徒たちから大変喜ばれました。

新総代さんきまる

四月一日現在

各部落のお世話をしてくださる新総代さんが四月から次のようにかわりました。（役場総務課）

▼壬生地区

下表町＝小田垣貞一、中表町＝早乙女由道、下横町＝福島春野、今井＝福田儀一、上表町＝鈴木貞一、城東町＝武藤良三、舟町＝川中子菊太郎、栄町＝名坂栄蔵、仲通町＝高山福民、上通町＝大橋文吉、三好町＝松本徳太郎、旭町＝戸崎常二郎、万町＝足助実、上新町＝荒川市三郎、下馬木＝神永歌之丞、西高野＝鈴木勝一、城内＝鈴木直太郎城南＝玉田一、馬場＝阿久津豊治、原宿＝倉井勇治、田向＝須藤源一、上坪＝須藤嘉吉、前宿坪＝篠原栄一、台坪＝山川長一郎、星の宮＝板橋栄一至宝町＝大栗義郎、六美町＝高山富吉、ひばりケ丘＝小貫ウメ

▼稲葉地区

釜ケ渕＝赤木国吉、原坪＝鯉沼東作、鹿島＝高久三申、下馬木＝大豆生田新三九、下町＝三上開一上町＝金山佐一郎、本郷＝高木平治、松原＝高村宗一、西部＝高橋与一、北原＝篠原泰栄、中央＝篠原寛太、台宿＝早乙女初一、下坪＝木野内友吉、東原＝川瀬作治、本坪＝荒川茂延、鯉沼＝鈴木幸八

▼南犬飼地区

北小林＝刀川藤蔵、安塚㈠＝川野辺福一、安塚㈡＝三橋長吉、上長田＝石島貞一、上田＝北条儀十郎、中泉＝瓦井清一郎、助谷＝粂川正三、原＝清水三之助、国谷㈠＝野口勇、国谷㈡＝石村長治、国谷㈢＝大栗新一郎

壬生史帖

中古の壬生

三、壬生氏と地蔵尊

二月号で記述した稲葉の里の親抱きの松の伝説に似た物語りが安蘇の常盤村にもあるが、これは戦国の世行方知れぬ武士の父親を尋ねる母子がはかなくも旅路に死んだその跡に植えられた二本の松の哀話である。

稲葉の里の親抱きの松の伝説もあるのでここに再述する。頃は南北朝時代と遡り、後醍醐天皇に反旗をひるがえした足利尊氏を討つために志臣宇都宮公綱が西上して戦場に臨んだ、その幕下に南条左衛門正春なる武士がありこれに従軍したが武運拙く戦死した。その妻倉橋「前回では倉橋」は当時九才になる娘小桜を宇都宮城に残し京都嵯峨に居り夫の菩提を弔っていたが娘恋しさの余り、南朝方と北朝方と交錯する敵味方の間をぬってはるばる稲葉の里までたどり着いたが長旅に疲れはててついに倒れ娘との再会もならず死んでしまった。母が今はの際苦しい息の下に村人にたのんだ娘への伝言で、宇都宮にいた娘がとるものもとりあえずかけつけてみると悲しい母はすでになく只屍にとりすがり泣くばかり遂には己も果敢くなった。村人があわれに思つて母子の墓の上に植えた二本の松がいつしか抱き合うように育ち親抱きの松という悲しい物語りを生んだのである。今も円宗寺三十世法印栄順広海師の碑文が建てられている。

さて史話は飛んで室町時代の末期戦国の世相となり下野の国でも諸豪族が己の勢力拡張のために戦争にあけくれ、または名をなすに都合のよい所に流転した。鎌倉の上杉氏が越後に流転してその流れをくむ長尾氏が一大勢力となったのもその一例である。藤原秀郷は名家藤原氏の北家系に属するものであるが、その流をくむ長沼氏の兄弟が一人は栃木箱森に、一人は備後国福山に移り後森戸氏を称し名をなしたのも一例である「元文相森戸辰男氏はその子孫」京都の公家小槻氏が寛正三年「約五百年前」ゆかりの地壬生に下り壬生氏を称し初代壬生城主となったのもその例にもれない。壬生氏は前にも記した如くもと高貴な方の産婆役保育官を職とした。初代壬生胤業は壬生に落ちつくと京都から壬生町東下台に日本三体縄解地蔵を迎へて守り、本尊とした。この地蔵の信仰によれば姙婦が安産し縄目の恥がが懺悔によって許されるし、幼童がすこやかに育つ子そだて地蔵となり、難問解決の開運地蔵となるといわれる。これも壬生氏古来の産婆役保育官の職掌と関係あることであろう。

「福田」

東下代の日本三体縄解き地蔵尊